

海況情報

愛知県水産試験場漁業生産研究所

平成30年5月16日

【内湾観測結果（調査日：5月9、10日）】

伊勢湾北部の観測を9日、伊勢湾南部と湾口部の観測を10日に実施しました。表層水温は湾奥で高く、湾口で低くなっています。また、渥美外海は遠州灘沖に形成された暖水渦の影響により湾口より高くなっていると推定されます。

【鉛直分布（調査点：P3～A21）】

伊勢湾のP5～P15では水温が表層で高く、P10～P13の底層で低くなっています。また、7、8日の降雨による影響で河川水が流入し、湾奥～湾口の表層付近には低塩分の水が分布しています。また、4月下旬の観測と同様に、P10～P13の底層に低水温・低酸素の水があり、その上を密度23～24の水が湾南部から湾奥に向けて侵入しています。クロロフィルは湾奥の表層で高く、P15の底層で低くなっています。

